



有志竟成

浜松市立北浜中学校
学校だより
令和2年1月9日

2020年「子年（ねどし）」・・・新たな年の始まりです！

新たな年、令和2年が明けました。今年も職員一同、本校の教育活動に全力で取り組む決意しておりますので、皆様の温かな御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

今年の干支は「子（ねずみ）」です。ある本に「子年は新しい運気のサイクルの始まりです。植物に例えると成長に向かって種子が膨らみ始める時期であり、未来への大いなる可能性を感じさせます。」と書かれていました。前回、前々回の子年に起こった



出来事を振り返ってみると、1996年には、羽生善治さんが25歳の若さで、史上初の将棋タイトル七冠独占を達成するという偉業を成し遂げました。さらに2008年には、日本人としては史上最多の4人（南部陽一郎氏、小林誠氏、益川敏英氏、下村脩氏）がノーベル賞を受賞し、いずれも子年にふさわしい、新たな時代の到来を感じさせる年となりました。

子年生まれの人は真面目にコツコツと働く人が多いようです。また、鋭い勘とひらめきを持ち、どんな状況下におかれてもその危機察知能力を生かして、よりよい人生を歩んでいけると考えられています。また環境への適応能力が高く、コミュニケーション能力に長けているので、自然に周りに人をひきつけるとも言われています。私たちも子年にちなみ、互いのコミュニケーションを大切にし、本校の教育活動がより充実するよう、ひとつひとつの教育実践を積み重ねていきたいと思えます。1月6日の始業式では「夢や目標を持ち、努力の積み重ねとまわりへの感謝の気持ちを大切に、この3学期をスタートしよう！」と生徒一人一人に呼びかけました。

北浜中校訓「有志竟成」を胸に刻んで

本校の校訓である「有志竟成」は平成27年9月に制定されました。有志者事竟成也（志有る者事竟に成るなり）とも言い「志を曲げることなく堅持していけば、必ず成し遂げられる」、「強い意志でものごとを進めるなら、途中で困難なことがあっても最後には目的を達成できる」という意味を持っています。出典は中国・後漢時代の歴史書「後漢書」耿弇伝で、齊の攻略など不可能だと思っていた光武帝（後漢王朝初代皇帝・約2000年前）が、それを成し遂げた將軍耿弇を賞賛して述べた言葉であると言われてしています。平成30年にノーベル医学生理学賞を受賞した本庶佑氏も、自身の座右の銘に「有志竟成」を挙げ、次世代の若者に向けて、志を持って努力することの大切さを説いています。



北浜中では、生徒が毎日使う生活記録ノートの表紙に校訓を掲げ、学校だよりのタイトルとしても使用しています。北中生はこの校訓を精神的なよりどころとし、様々な場面で「有志竟成」を意識しながら行動しています。私たち北浜中職員も、夢や目標を持って地道に努力することの大切さを生徒に語りかけるとともに、生徒一人一人のよさや頑張りを称え、全力で応援していきたいと思えます。

<文責：校長 鈴木信行>